



郷土の花 福岡県の花うめ(紅梅)

河原崎雲堂画 葛原解説 昭和五〇年頃 芸林堂刊  
郷土の花は全国四十七都道府県の花として、NHKと日本植物友の会選定により木版刷り多色刷りにて行われたもの。福岡県を代表する花としての、うめはもろろん大宰府天満宮のうめが元となっていると解説に見える。 亮軒記

# 花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人/小笠原 馨 発行所/名古屋園芸株式会社  
〒460-0005 名古屋市中区東横2-18-13 tel. 052-631-8701  
http://nagoyaengei.co.jp/

'20 2

名古屋園芸



ピンクを楽しむ



① 花瓶生け ヒヤシンス1本 ¥300+税  
グラスベース ¥1,200+税



② ヒヤシンスのフレグランスブーケ ¥4,000+税

## バースデーフラワー

～ヒヤシンス～



③ ヒヤシンスのカントリー風アレンジ ¥3,500+税

残寒の日々が続く中、そこはかとない春の気配に心躍る季節になりました。そんな2月のバースデーフラワーにはヒヤシンスがおすすすめです。  
ヒヤシンスとは、キジカクシ科・ヒヤシンス属に分類される球根植物です。草丈は大きいものになると50cmほどになり、球根から茎を伸ばして生長します。すっと伸びた茎の先に穂状の花が咲き、そのユニークな見た目と、甘く濃厚な香りが春の訪れを感じさせてくれます。

ヒヤシンスの花色は白、赤、黄などが定番で人気があります。そのほか、ピンクや紫、青、オレンジ、紅色などもあり、色の濃さなども少しずつ異なるものがあります。そのため、この時期は鉢植えや寄せ植えはもちろん、切花アレンジメントと様々なシーンで活躍しています。  
ヒヤシンスはガラス花瓶との相性が良く、1本からでも可愛らしく楽しむことができます。また、香りも良いのでアレンジやブーケなどギフトとしてもおすすめです。今月はバースデーにヒヤシンスはいかがでしょう。

### information

2月のオススメ講座

講座No.30 1dayレッスン  
かわいいランとグリーンの寄せ植え  
2月21日(金) 10:30~11:30



小さくて可愛いミニの洋ランを使ってオリジナルのインテリアプランツを作ってみませんか?個性豊かなグリーンを組み合わせる事で花の魅力がぐっと引き立ちます。また、オシャレな鉢にあしらう事でインテリアとしての品格もランアップ!作業方法だけでなく、日常での管理方法もしっかりとお話し致しますので、初心者の方でも安心です。1回講座ですのでお気軽にご参加ください。

- ・講習費: 1,000円+税
- ・材料費: 3,000円+税
- ・講師: 秋山 菜野花



◇お申し込みは 花の講座専用  
TEL052-937-3391 (平日9:00~17:00)  
Webでのお申し込みは24時間OK!  
名古屋園芸で検索

## 夜の梅(臥竜梅) 三枚続き

花の博物館 第289回

深斎英泉画  
文政年間  
小笠原左衛門尉亮軒

ここに描かれた臥竜梅は、「江戸名所花暦」によれば、「本所魚戸天満宮(太鼓橋とふじの花で有名)より三丁(三〇〇メートル)ほど東にあり、清香庵寄右衛門の庭中に臥竜梅と唱うる名木あり、突に竜の臥したるが如く枝はたれて地中へ入りてまた地をはなれいづれを幹ともさだめがたし。花は薄紅なり 後略」とあるように、此の木よほど江戸の人々に好まれた名木中の名木であったであろう。歌川広重(初代)も、「名所江戸百景」のシリーズにも当木を置き、更にこの作品をゴッホが模写したことにより更に有名ともなった木である。深斎、広重以外にも、多くの錦絵作者により多数の作品が残されている。おそらく一本の木をモチーフとしてこれくらい多く作品が残されたのも珍しいことと思ってしまう。しかし現在はこの品種は失われていて残念なことである。



## ★☆☆☆☆ オリンピックローズ『聖火』



今年の夏はついに東京オリンピックがはじまりますね。バラとは関係なさそうですが、実はそのオリンピックイヤーにぴったりのバラがあります。その名も『聖火』英名ではオリンピック・トーチ (Olympic Torch) と呼ばれています。

『聖火』は、1964年10月に東京オリンピックが開催されたのに因んで、京成バラ園芸が作出したバラです。花色が変化する様子を、東京オリンピックの聖火台の炎をイメージして作出したバラです。

開花が進むにつれて白地のベースに、全体が赤味がかって濃くなっていく覆輪のバラ。半剣弁高芯咲きで四季咲きです。ベースを先祖に持ち、花は大輪で最大で13cmになります。花つきも良い品種です。国内で種苗登録されたバラの第一号でもあります。

その『聖火』、先月号で紹介した【完熟ローズ】でも販売がはじまります。生産地で極上の大苗を仕入れ、名古屋園芸スタッフが振り起こして植えこみます。土も名古屋園芸オリジナルでブレンドした培養土、そこにバイオゴールドの有機元肥をたっぷり入れ込みます。今年の春には追肥をするだけでたくさんのお花をお楽しみいただけると思います。

バラを育てるのは難しいと思われるローズビギナーのかたは育てやすい完熟ローズの『聖火』から始めてみるとバラを育てるのが楽しくなると思います。

50株の限定数での販売となります。  
¥3,800+税